

2014年1月30日
野村不動産ホールディングス株式会社
野村不動産株式会社

報道関係者各位

『かやぶきの里プロジェクト』
プラウドオーナー、PMO テナントを対象に里山体験を案内
減農薬農法により収穫したお米の一部をボランティア団体「母ちゃんず」他に寄贈

野村不動産株式会社(本社:東京都新宿区/取締役社長:中井 加明三)は2012年5月より活動している「かやぶきの里プロジェクト」で収穫したお米の一部を、福島の子どもたちのための保養キャンプを運営するボランティア団体「母ちゃんず」および、福島市内の保育園、NPO 法人に寄贈しましたのでお知らせします。

<「かやぶきの里プロジェクト」について>

本プロジェクトは、都会暮らしで故郷を持たない子どもたちと、過疎化や少子高齢化で荒廃が進む農村を繋げ、日本が抱える社会課題を解くモデルケースとして『自然と地域の資源を活かした豊かな里山文化の継承』、『都市部の子どもたちの故郷づくり』や『環境教育の場の実現』を目指して始めた産民官学共同のプロジェクトです。当社分譲マンション「プラウド」のオーナーやテナントビル「PMO」に入居するテナント企業の社員の方々を茨城県筑波山麓にある『野村不動産エコ田んぼ』にお招きし、田植えや稲刈り等の里山体験を実際に体感していただいています。同田んぼは、沢水と減農薬農法を取り入れており、約200種類の多様な生物が生息し、都市部では触れることのできない豊かな自然環境が残されています。本プロジェクトは2012年5月より活動を開始し、延べ600人の方が参加しています。また本プロジェクトの活動が評価され、2013年度グッドデザイン賞3部門の受賞(カテゴリー:住宅・住宅設備/社会貢献活動、国際貢献活動/個人によるNPO活動、コミュニティ活動、社会貢献活動)及びベスト100に選出されました。

【野村不動産エコ田んぼと里山体験イベントの様子(稲刈り・昆虫観察)】



【田植え体験】



【筑波山麓で昼食】



<産民官学共同プロジェクト>



本プロジェクトは、野村不動産、筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会、地元NPO法人、つくば市、筑波大学など里山文化に関わる団体との産民官学共同プロジェクトとして活動しています。また、2012年度まで筑波大学の授業にも本プロジェクトの活動を組み入れ、未来を担う若者たちが自然環境の保全と里山文化を継承する意義を学ぶ教育の場としても活用しました。

< 築 150 年の茅葺き小屋の移築・再生 >



【完成した茅葺き小屋】

【茅葺き作業、工事の様子】



2012 年には築 150 年の茅葺き小屋の移築再生作業を行いました。この作業は都市農村交流の拠点と里山文化継承のシンボルとして行ったもので、野村不動産が協賛し、当社社員、分譲住宅のオーナー、地域住民、筑波大学の学生が参加し、一部セルフビルドで建築しています。再利用可能な建材(木、草、土)のみで建てられたこの茅葺き小屋は、今後地域住民と都市住民が里山保全と農業体験に協同で取り組むための活動拠点として活用しております。

< 母ちゃんず主催『2013 冬休み ほくほくキャンプ』について >

「母ちゃんず」は相模原市の幼稚園「つちのこくらぶ」に通う子どもたちの保護者有志が立ちあげたグループで、福島県在住の親子を町田市、相模原市のキャンプ施設に招き、のびのびと太陽の下で過ごしてほしい、自然の中で思いっきり遊んでもらいたいという目的から定期的に保養キャンプを企画・運営しています。当社は 2013 年の『かやぶきの里プロジェクト』で収穫したお米約 100kg を「母ちゃんず」に寄贈し、2013 年 12 月に開催された保養キャンプ「2013 冬休み ほくほく キャンプ」に参加された方々に召し上がって頂きました。



【母ちゃんず主催「2013 年 冬のほくほくキャンプ」】

当社は、今後も本プロジェクトの活動を継続し、現在日本が抱えている諸課題に向き合い、貢献してまいりたいと考えています。

■本件に関するお問合せ窓口■

野村不動産株式会社 広報部 (大西・阿部)

TEL03-3348-7805

FAX03-3343-0445

URL: <http://www.nomura-re.co.jp/>